



図書館 だより

図書館 ☎ 69・3706

おしえて! 図書館 (レファレンス)

- Q アロマオイルを使って香水を作りたいな
A こちらはいかがですか。



アロマ調香レッスン
新聞美也
原書房





天然の香料である精油を使い香水を作る方法が、基礎からわかりやすく説明された1冊。有名な香水をお手本にした作り方や、精油の種類や特徴が紹介されています。これを読んでオリジナルな香りを作ってみてはいかがですか。

レファレンスとは情報や本などを探すぐらいの手伝いをする図書館のサービスのひとつです。

図書館に入った本



いろいろな本があります。
一部をご紹介します♪

	『悟浄出立』 万城目学／著 新潮社
	『窓から逃げた100歳老人』 ヨナス・ヨナソン／著 西村書店
	『野菜のチップス 果実のチップス』 藤田承紀／著 文化学園文化出版局
	『猟師の肉は腐らない』 小泉武夫／著 新潮社

貸出中の場合もありますので、本が見当たらない時はお気軽に職員にお尋ねください。

専門書の入手

■飼育員の宝物本

手元にとっても貴重で欲しかった本が届いた。その名も「水族館開発・リニューアル計画と集客戦略資料集」という本で、通常の書店では扱ってなく、というかこの本を一般の方が読むことは通常の正しい生活をしている限りほぼないので売っていない、いわゆる専門書です。

我々飼育展示スタッフの願いは「現水族館を中身も外身も大きくしたい、それによって来館者を中

心とする周囲をもっと幸せにした」ということで、取り寄せたこの専門書は、飼育展示に関わるスタッフ全員に意見を聞いて(ど少ない)予算をかき集めて手に入れた大切な宝物本となりました。本としては破格の値段で、この本をかうよりたくさんのおいしい魚を仕入れて展示したほうが良いのではないだろうか、このお金があれば欲しかったあの飼育機具が、このお金があれば美味しいご飯が何日食べられるか、おとつあん病気の薬が、などなど、スタッフ全員が公私ともに自問自答した



学芸員 小林龍二

竹島水族館
☎ 68・2059

■事務所は研究室

りしなかったりの後に購入が決まりました。結果的に無理してでも手に入れて良かったです。

飼育展示スタッフの事務所にはその壁際のほとんどに本棚があり、ある程度の図鑑や資料集などの専門書が揃っています。個人の本棚もあり、スタッフが自主的に集めた「日本陸棚周辺の十脚甲殻類」「世界のメダカ」「日本産海洋プラシクトン検索図鑑」など、通常の人では一生のうちにも手に入らないだろうマニアな本も多数。これらの本が開かれるときは、いつもなごやかな事務所が一気に研究室の気配となり、そこから新種だと判明され、竹島水族館から世界に発信された生き物は少なくありません。

■欲しいけど高い

これら専門書は、前述のように「普通の人々は読まないし、いやいや」ものなので、書店の本とは比べ物にならないくらい値段が高いです。手に入れるのに非常に苦労します。おもちゃが欲しい子どものように、いい子にするからさきつとしっかり使って勉強するからさ、この本があればお客さんほもつと楽しめる水族館になるからさ、などの長期にわたる交渉の会話を進めて手に入れます。個人で入手する場合は、妻子持ちの家庭ではさまざまな形でその代償が必須となり、家族サービスに燃える日々を送ることとなります。